

令和5年塩竈市立病院新改革プラン

評価委員会

会 議 録

塩 竈 市 立 病 院

令和5年塩竈市立病院新改革プラン評価委員会

日 時 令和5年8月8日（火）18:30～

場 所 塩竈市立病院3階 会議室

次 第

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 審 議

（1）令和4年度の取組状況について

4. 閉 会

【出席者】

《出席委員（9名）》

本 郷 道 夫（東北大学名誉教授）

赤 石 隆（宮城県塩釜医師会会長）

大 井 嗣 和（宮城県塩釜医師会副会長）

佐 藤 賢 一（東北医科薬科大学病院 病院長）

遠 藤 圭（宮城県保健福祉部医療政策課長）

代理出席 土谷 芳和（宮城県保健福祉部医療政策専門監）

西 條 尚 男（宮城県仙台保健福祉事務所保健医療監・塩釜保健所所長）

小 野 憲 幸（市民代表）

千 葉 幸太郎（塩竈市副市長）

福 原 賢 治（塩竈市立病院事業管理者）

《欠席委員》

中 嶋 満 枝（市民代表）

《事務局など》

鈴 木 康 弘（事務部長）

平 塚 博 之（経営改革室長兼業務課長）

庄 司 晃（医事課長）

堀 江 佳 弘（業務課総務係長）

高 橋 茂 仁（経営改革室係長兼業務課経理係長）

渡 辺 美 香（経営改革室主査兼業務課経理係主査）

《傍聴者》 20名

《報道》 なし

1. 開会

○本郷会長（開会あいさつ）

お晩でございます。座ったままでお話をさせていただきます。

これだけ暑い日が続くと、全国どこの病院も電力値上げで大変な状況だと思いますが、塩竈市立病院はじめ大変な状況となっております。それに病院関係のマイナンバーカードの保険証利用は新たな状況になってきているようです。

さて、今日ご議論いただくのは、昨年の令和4年度の経営に関する報告でございます。昨年度までは、新型コロナウイルス感染症が2類感染症という事で、それを担当する医療機関にさまざまな補助金が出ています。その状況での業績の評価という事になりました。令和5年度では5類感染症になったという事で、また違う要素が出てくるので、医療環境は目まぐるしく変化しているように見えます。

今日の議論は、評価委員会として先生方の意見を伺った上で取りまとめられ、それを反映して経営強化プランに繋がり、その経営強化プラン（案）についてパブリックコメントを実施し、そして最終の審議会に諮って市長報告というように続きます。今回の審議は、一番重要な中間成績の評価という事になりますので、委員の皆様のご意見をよろしくお願いいたします。

それでは、審議事項を進めていきたいと思えます。では、令和4年度の取り組み状況について、目次の最初の1ページ、患者数、診療単価、医業収益の概要について事務局から資料の説明をお願いいたします。

2. 審議

（1）令和4年度を取組状況について

① 医業収益、患者数等の概要

レジメに基づき事務局より説明。

○本郷会長

ありがとうございます。

2ページのグラフを見ると入院患者数の状況が一目瞭然ですが、11月に院内クラスターが発

生して病棟で入退院を制限したという状況がありました。これがいろいろな所に影響を及ぼしつつも全体として年度を通しては、かなりのところまで回復というか目標に近づけたというような内容だと思います。この時点で、ご質問よろしいでしょうか。

それでは続いて 2 の新改革プラン目標の達成状況及び取組状況について説明をお願いします。

② 新改革プラン数値目標の達成状況及び取組状況

レジメに基づき事務局より説明。

○本郷会長

ありがとうございます。このセクションに関してご質問等ございますでしょうか。

○大井委員

はい。14 ページのワークライフバランスの向上に記載されている男子職員の育児休業取得された職員の職種は何ですか。1名取得と記載されていますが。

○事務局（平塚課長）

コメディカルで、薬剤師です。

○大井委員

どれくらいの期間ですか。

○事務局（平塚課長）

長期間ではありませんが、複数に分けて、例えば 1 か月とか 2 か月とかに分けて取得している状況があります。

○大井委員

分かりました。

○本郷会長

他によろしいでしょうか。

患者サービスのところでクレジットカード支払の導入がありますが、クレジットカード支払いの導入によってキャッシュフローに影響は出ませんでしたか。1 か月遅れて入金されるようになると思われますが。

○事務局（高橋係長）

半月遅れで取りまとめられて清算という事になっておりまして、現金収支に大きな影響となっている部分はありません。

○本郷会長

半月遅れで入ってくるという事です。他にご質問よろしいでしょうか。

では、また最後のところでお願いいたします。それでは、続きまして3の令和4年度決算見込みの概要についての説明をお願いします。

③ 令和4年度決算見込みの概要

レジメに基づき事務局より説明。

○本郷会長

ありがとうございます。何かご意見ございますでしょうか。

経営状況としては、入院患者が一時激減して、これまでにない状況で苦勞しながらも最終的には良い経営状況が出てきているという状況です。

それについて、ご意見いかがでしょうか。では順番にご意見を交わしていきたいと思っております。

○赤石委員

素晴らしい結果だと考えております。

○本郷会長

はい。大井委員いかがでしょうか。

○大井委員

そうですね。素晴らしいのですが、16 ページの上から 8 行目に、入院患者数の減少に伴う薬品の減とありますけれども、これは入院の分は入院患者さんの院内処方ですよ。そうすると、期限切れ等のそういう廃棄するような薬というのは、どのぐらいの費用で在庫はどのぐらいあるのですか。塩竈市立病院の規模での、無駄にする薬品の費用を教えてください。当院は個人病院ですけど、やはり期限切れの薬剤を処方する訳にはいきませんので、どうしても涙ぐんで処分するようになりますが、市立病院の状況はどうかですか。

○事務局（鈴木事務部長）

資料の 17 ページをご覧くださいなのですが、17 ページの医業費用の網掛けところですが、下からの 2 段目の資産減耗費というところがございます。この金額が 114 万 8 千円になっていますが、その金額がほぼ薬品の使用期限を迎えて廃棄した部分の金額になります。

○本郷会長

薬品の在庫というのは注意していないと、とんでもないものが残ったりする事があるので、そこは大丈夫ですか。

○本郷会長

佐藤委員お願いします。

○佐藤委員

全体的によく頑張っていると思います。入院収益の減少に対して外来収益が補っているという事で、最終的に。ただ、私たちの病院もそうなのですが、コロナの補助金というのはかなり大きいところで、これが無くなってからの今年度どうするかというのが、やはり頭を悩ませるところだと思うのですが、そういうところも含めて、去年はコロナの影響がありながらも頑張った結果ではないかなと思います。

○本郷会長

ありがとうございます。

確かに補助金、表面に出てくるのは県からの補助金ですが、もう一つは診療加算の分、発熱外来の加算も結局はコロナの補助金と同様と考えると、その2つがかなり経営にプラスしている。来年の令和5年度はどう変化していくのか。少なくとも令和4年度に関しては、結果として良い成績になっていたし、県の補助金の分を差し引いても発熱外来加算の部分は別として、趣旨としてはプラスに働いたという事になるような気がしますよね。

それでは、続いて小野委員。

○小野委員

収益の方はすごいなという事で拝見しております。一つ、先ほど聞けば良かったのですが、外来の待ち時間短縮というところで、どのぐらい短縮になったのかお聞きできれば。

○事務局（庄司課長）

待ち時間については、概ね3分から4分程度の短縮になっています。

○本郷会長

はい。それでは県から。

○県 土谷医療政策専門監（遠藤委員代理）

コロナ禍の中、光熱水費、物価高の中に非常に素晴らしい経営努力の結果だと思っておりました。ちょっとお話したかったのは、16 ページに記載されていますが、看護師さんが中途退職されたという事で、体制上の影響はなかったのか。また、それに対しての補充の状況を教えていただければと思います。

○事務局（平塚課長）

はい、実は半年の期間 3 名ほど不足している状況がありました。やはり最初は配置にも影響がありまして、5 階病棟の配置がちょっときつくなって加算報酬が取れなくなった状況がありました。その部分については、補充をして改善しており加算されています。以上でございます。

○本郷会長

看護師募集についていろいろ工夫していますが、この地域での看護師募集の状況等はどうか。

○事務局（平塚課長）

はい。明日も試験があるのですけれども、新規採用で2回ほど採用試験を行っております。中途採用に関しても3回行っておりまして、都合4名5名を採用できている状況があります。これからも、不足においては、追加で募集しながら補充をして行きたいと考えております。以上でございます。

○本郷会長

はい。続いて西條委員。

○西條委員

大変な環境の中で色々と工夫されて、結果的には良い経営成績を収められたという事には敬意を表させていただきます。ここで教えていただきたい点があります。

17ページあるいは16ページに記載されていますが、いわゆる健康診断、人間ドックについての数が横ばいでございますけれども、新規の数とリピーターの数等の統計等をとってらっしゃいますか。リピーターの数そのまま毎年毎年同じような推移の利用者数なのか、リピーターが減っている分を新規利用者の増加で補っているかとか、いろいろな事があるかなと思うのですが、いかがでしょうか。

○事務局（平塚課長）

はい。今までですと、健康診断の方が中心で実施していましたが、最近は企業における人間ドックの方を中心に実施しております。人間ドックが大体3,200人程度で横ばいという状況で推移している状況です。ただ、当院の施設上、検診を受け入れる1日の枠数は限られていますので、そこから大きく増加させるという事はなかなか難しい状況はありますが、常にアピールしながら利用者の数は保って行きたいと考えています。

○事務局（鈴木部長）

新規患者とリピーターの数というのは正直把握をしておりません。ただ、人間ドックを受けて頂く企業数についてはほぼ変わりはない状況ですので、基本的には当院はリピーターを中心に実施していると考えております。

○本郷会長

はい、新規開拓のような事ですね。

○事務局（鈴木部長）

新規開拓については、検診、特に今回新規で受ける部分への動きとして、担当部署がチラシでの広報あるいはこれまでも脳ドック検診について企業さんの方を訪問した事がありましたので、新規開拓は常に行っているのが今の状況です。しかし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大もありまして、なかなか企業訪問等が難しかったので、そのような活動も再開していきたいと考えております。

○本郷会長

はい。ありがとう。

○県 土谷医療政策専門監（遠藤委員代理）

すみません、これからの質問は、今ご説明いただいた資料から離れてしまうかもしれませんが、先ほど会長からクレジットカード支払の導入の話が出ましたので。クレジットカードは確実に収入を得る事ができるけど、いわゆる2週に1回集金を行っており、貸借対照表には出ていないのですが、毎年不納欠損額が800万ぐらいという事で、この対策をどうされているか、改めてもう一度伺います。

○事務局（鈴木部長）

実は市役所の方も全庁あげて債権管理について検討している中で、当院につきましてもまず未収金対策という事で、例えば弁護士さんに委託をしまして督促状を出す等を実施した経緯がご

ございます。ただ、その成果が表れているかというところ、決して回収率が上がってきている訳ではないという問題もございまして、費用対効果の中でどこまで費用をかけてどこまで回収できるのかというのは、今、市立病院の大きな課題の一つでもございます。ただ、市の方針と合わせまして、もう一度債権管理についてどのように取り組んでいくかというところを院内あげて検討しておりますので、債権回収の方法についてはしっかりと行っていきたいと考えています。

また、クレジットカードを使う事によりまして、債権回収の部分の確実性が上がるということもございまして、一方でそれに関する手数料の問題ですとか、カードの方の利用率が上がってきたりする状況もありますので、デジタル化の推進として例えば電子決済という方向も病院としては、未収金対策としては検討しなければならないと考えております。

○本郷会長

はい。よろしいでしょうか。千葉委員。

○千葉委員

16 ページの収益的収支の概要の部分として、ちょうど中段あたりに原油高騰に伴う光熱水費の増という記述がございまして、病院の事務部から事前にざっくりお話を聞かせていただいて、光熱水費は増えているものの、使用量はできるだけ節減されているとお聞きしておりました。しかし、診療報酬・介護報酬のトリプル改正を今後控えておりまして、こういった価格高騰の費用増加分を踏まえると国の方では一応は言われています。しかし、古い建物という中でご負担をかけてはいるのですけれども、実際の数字的にどんな状況なのか今後も引き続き高騰すると思いますので、ちょっと教えていただきたい。

○事務局（平塚課長）

令和4年度の決算見込みで高熱水費が前年度よりも年間2,200万円増という状況があります。今年度6月に光熱費の高騰がありましたので、その部分多少増えている状況は見込まれていますので、こま目の節電として、患者様に影響がない所のままな節電対策等を行っていく状況が、今のところ唯一の方策になっている状況であります。以上でございます。

○本郷会長

電力は、一時期は第 2 電力の方が結局はかえって危ない事になってしまっていて、東北電力の方がむしろ安心とは言いながらも、どんどん値上げしてくるという事。これ以上電力上がっていかない事を期待したいと思うのですが。

福原委員、感想というか。

○福原委員

はい、経営に関しては大変高いご評価いただき、本当にありがとうございます。この令和 4 年度は、コロナに明け暮れた 1 年かなと思っております。特に通常の年ですと、春先の 4 月から 6 月ぐらいは、患者さんが非常に少ない時期があります。今年、令和 4 年度は内科の医師を招聘して春先の時期に患者確保をし、4 月から 7 月まで例年とはまったく違った患者さんの動きになりました。それで、この増加した分が後々に院内でクラスターが発生して入院患者数と収益が減少になった部分を埋めてくれているのです。ですので、令和 4 年度に新たに医師招聘したという事が非常に大きく経営に影響したと思っています。このことから、やはり縮小、縮小という方針でいくと経営は非常に危うくなってしまうので、費用をかけるところはしっかりかけて医療機能を維持していくという事が大事であると理解した 1 年でした。以上です。

○本郷会長

はい、委員の先生方からのご意見で非常に高い評価をしていただいているように思います。その他に何か追加のご質問あるいはコメントあれば。

最近話題になっているのは薬品。特にジェネリック薬品が品不足になっているという事が問題になっていますけど、私が市立病院で外来診療をしていても、オーダーした薬の在庫がありませんという事ではないのですが、その辺はどうでしょうか。

○事務局（斎藤薬剤部長）

ジェネリック薬品が足りないという話は全国的な動きがあります。当院も手に入りにくいものが多々あるのですが、いろいろな卸業者に掛け合いながらなんとか供給を維持していただいているというのが現状です。それで、その中でも急にジェネリック薬品の生産を中止するという事になる場合もありまして、そういった場合は他のジェネリックに切り替えるのですが、それを各

医療機関で取り合いという形になるので、非常に苦慮しているところですが、現在のところ患者様にご迷惑をおかけするようなところは、とりあえず避けられています。

○本郷会長

はい、これは政策の方の問題で病院の問題ではないのですが、なんとか確保していただく事が必要です。

○本郷会長

いろいろなご意見、お話を伺いましたけど、他によろしいでしょうか。

はい、それでは本日の議論を元にして、市立病院新改革プラン令和4年度の取組についての評価あるいはご意見を、手元にお渡ししておりますシートにご記入をして、事務局に届けていただきたいと思います。お忙しいとは思いますが、10日間ぐらを目途として8月18日、来週金曜日を目途に事務局に提出していただきたいと思います。

そして、報告書等につきましては、一任頂きたいと考えていますがよろしいでしょうか。

それではよろしく願いいたします。

令和4年度の評価について、審議を終えます。どうぞよろしく願いいたします。

4. 閉会

○事務局

以上をもちまして、本日の審議会を掲載とさせていただきます。

以 上

閉会 午後7時15分